



# KSK あまねだより



発行 神奈川県障害者定期刊行物協会  
 222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752  
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階  
 横浜市車椅子の会内

編集 あまね共同作業所  
 239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1  
 TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062  
 2020年1月6日 第430号

(頒価 20 円)

## 一日も早い終息を・・・

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国小中高の休校を安倍首相が要請され、今週から横須賀市の学校も休校になりました。感染予防、防止の観点から止むを得ない措置だったのかも知れませんが、突然のこともあり、少なからずあまねにもその影響は出ています。

私事ではありますが、私もこのタイミングで2月末に咳と黄色い粘着性の鼻水と痰。頭痛も伴う体の変調が、「まずい」と思いすぐに検温をしましたが、何度測っても「36℃半ば」しかし、様子を見るためお休みを頂きました。「もしかしてコロナウイルスに罹患したのでは?」「みんなに迷惑かける。」「仕事が忙しくやすすめない。」など不安と焦り、悶々とした気持ちで週末布団の中で過ごしていましたが、日に何度も検温しても平熱、のどの痛みはない等、コロナの症状とは少し違うのでは?毎年この時期に花粉症に悩まされ、免疫力が落ちている状況で、何度か副鼻腔炎に罹患したことを思い出して、週明け、かかりつけの耳鼻科へ受診しました。結果「副鼻腔炎」と診断をされて、症状の辛さより、診断結果にまずは一安心。

この時期、福岡市の地下鉄では、マスクをしないで咳き込んでいる人がいると非常通報ボタンを押され、運行が遅れたり、東京の山手線内でも花粉症でマスクした女性が咳をしたことをきっかけに大げんかになるなど、緊急事態であり、日常の感染予防の必要性は言うまでもありませんが、マスコミ等の情報が過剰なまでの社会不安をあおっている面もあるのではないかと思います。

2月24日厚労省から福祉施設における感染症拡大防止に万全を期するよう求めた事務連絡が出され、事務連絡に基づき、あまねも仲間、職員共に出勤前に必ず検温をして、37.5度以上の発熱がある場合は出勤停止、外部者との物品の受け渡し等も玄関で対応するなど感染防止に努めています。また、仲間たちの製品を販売するため様々なイベントが中止され、仲間たちが日々行っている製品作りにも今後少なからず影響が出ると思います。そのことは、仲間たちの給料にも直結していきます。さらに一泊旅行の延期など、楽しい行事、余暇活動にも制限が加わって

ます。社会全体が我慢しているのだから仕方がないことですが、それでも笑顔で毎日通って来る仲間たちのためにも、この事態が早く終息して、いつもの日常に一日も早く戻ることを切に願うばかりです。  
 (文責 山田)

福祉新聞からのトピックス(記事)より



障害者差別解消法の見直しに向けて議論している内閣府の障害者政策委員会は、意見のまとめを4月に先延ばしすることを決め、8人の委員が修正意見を提出した。現行法では、差別を一律に定義していないことから、内閣府が示した案では、差別を明確に定義する方向で検討する方針を掲げたが、修正意見では、それに加え障害のある女性や障害児の受ける性・年齢による複合的差別についても国・地方自治体の実態を把握し、適切な措置をとることを義務化するよう提案した。さらに修正意見は、相談体制について国にワンストップの窓口を設けること、各省庁の担当課長による連絡会議を設けて相談事例の分析・公表を行うことを提案している。

### きょうされん第43回国会請願署名にご協力をお願いします

障害のある人たちがあたりまえに働き、地域の中で安心して、支援をえらべる暮らしを実現するために、障害福祉についての制度の拡充を求める署名・募金活動です。

署名・募金の問い合わせ 046-833-4035  
 山田・海原

### 資源回収ご協力ありがとうございます

1月実施分は  
**18,226kg**でした  
 (奨励金は72,900円)  
 次回の日程は別紙にて  
 お知らせします。  
**問い合わせは9:00以降にお**  
**願いたいたします。**

### ★スケジュール(3月)

- 13日 資源回収 岩戸・池田
- 14日 資源回収 舟倉・若宮台

### ☆あまね製品販売の予定

新型コロナウイルスの影響により、当面イベント等の中止により、外部のあまね製品販売はおこないません。

### 【ありがとうございます】

高谷様・いずみ作業所様・横溝様  
 鈴木様・額狩様・久里浜小様(順不同)

資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂き感謝申し上げます。バザー品については、現在保管場所がなく、定期的な販売等を実施していかないため、お受けいたしてありません。よろしくお願い致します。





## 事務所から～sukasuka-ippoさんの取り組み～

新型コロナウイルスの影響で、多くの小・中・高等学校が3月2日から休校になることが決まっています。一生に一度の思い出となる卒業式も父母の参列が取りやめになったり、卒業式そのものが中止になったりと…混乱を極めていますが、治療法がまだ確立していない新型コロナウイルスが蔓延しないためにも今が頑張り時なのかもしれません。早くに終息をしてほしい…と心から願っています。



今回は、事務仕事(事務確認業務、銀行業務、入力業務)を委託している **sukasuka-ippo** さんのことを紹介したいと思います。今、あまねでは3名の方に事務仕事を手伝っていただいています。その方たちの所属は一般社団法人 **sukasuka-ippo** で、横須賀市の商工会議所と連携して横須賀テレワーク事業を推進しています。テレワーク事業とは、隙間の時間を利用しての働き方を考えていくことです。企業は人材不足で、名刺の整理や、データの処理が滞ってしまったりという事柄がでてきています。毎日ではないけれど整理をしたい、あるいは魅力的なパンフレット等の作成をしたいと願っているが人材を確保することが出来ない。一方 **sukasuka-ippoh** を構成するのは、障害児(者)を抱えるお母さん達で、仕事のスキルは持っていてもフルタイムで仕事をすることは困難です。それでも子どもさんが学校に行っている時間に社会との接点を図りたい、自分の待っている専門的知識を生かしたい。その考え方が一致して「地域企業のアウトソーシングのニーズに応える「よこすかテレワーク」が立ち上がりました。

このような仕組みが評価され、経済通産省や神奈川県からも表彰されています。代表の五本木さんの発想力と、構成する家族の方のスキルの高さ、マッチングを担当する方の力量がうまく機能していると思います。

2018年7月から事務補助及び銀行業務をお願いするために1名のワーカーさんから始まり、会計入力を担っていた事務職員が退職した後入力業務をきちんと理解するために決算まで1年を理事長が会計入力をしていたものを移行するために、また事務補助が更に必要とのことで2019年5月から2名お願いし計3名で今日に至って

ます。3名の方とも、ハンディキャップをもつ子どもさんのお母さんです。当然、子どもさんを最優先にさせていただいていますが、時折子どもさんのエピソードを伺うと気持ちが「ほっこり」とします。

子どもさんにハンディキャップがあるからこそ、事務所内で起こる様々な出来事に対しても大きく動揺することなく対応してもらっているのではないかと思います。ありがたいなと思います。



あまねでは、今迄委託業務をしたことはありませんでした。しかし、今回 **Sukasuka-ippo** さんに委託したなかで、私たち法人も、働いているワーカーさんにとっても良い関係が築けていると思います。もしかしたら、まだまだお願いできることがあるのではないかと思っています。そのことによって、今の職員さんの働き方を変化させることもできるかな…と。

**Sukasuka-ippo**、あるいは「よこすかテレワーク」の詳細をお知りになりたい方は、<https://www.sukasuka-ippo.com> を検索してください。

(記 我妻・海原)  
地域企業のアウトソーシングのニーズに応える



**静岡県牧之原産やぶきた  
深蒸し茶を販売しています**

200g 1000円

ご注文は作業所まで

046-835-0723

**ふきん販売に  
ご協力ください**

布地 8枚重ね 3枚組

660円

ご注文は作業所まで

046-835-0723